

石川町資源調査調書

通し番号	102	整理番号	9	-	001	作成	平成19年2月
名称	イワツツヨウケンジンジャレタイサイ 石都々古和気神社例大祭				項目	祭礼	
管理	住所	石川町字下泉地内					
	連絡先	TEL 0247-26-7534					
	管理者及び所有者	石都々古和気神社					
概要	<p>治暦二年（1066年）石川有光が源氏の氏神である京都石清水八幡宮の御分霊（大国主命・誉田別命）を当社に合祀した。その日が旧9月19日で、この時よりこの日を例祭日と定め、毎年旧9月13日から19日までを例祭期間とした。例祭日も時代と共に変わり昭和50年より新暦の9月11日から15日迄となり、平成15年より9月の第3土曜日曜（前3日間が参籠）に例祭が行われることとなった。</p> <p>9月の第2土曜日に例祭式、同日夕刻、当番町（6年に1度の持ち回りで、お祭りの運営・準備・渡御を奉仕する）の氏子等により、神社御神輿が神社（八幡山山頂）から当番町の御仮屋にお下がりになり、各町内の奉納を受ける。翌日早朝より神社御神輿は当番町氏子等により各町内の旗場を渡御し、夕刻神社にお上りになる。</p> <p>例祭期間当番町氏子等は、紋付羽織袴、若手の神輿付係は袴に脇差、これを約960年間正装としてきた。以前は三騎の神矢（流鏝馬）が行われ、今も馬場町（ばばまち）と言う町名で当時の名残を留めている。</p> <p>また、神社御神輿が本殿（八幡山）にお上りになった後、クリスタルロード（石川町大通り）において町内神輿による、神輿パレードが行われている。</p>						
参考文献	石都々古和気神社ホームページ http://www13.plala.or.jp/seihuukan						
関連項目							
備考							
写真及び位置図等							
 							
例大祭							

石川町資源調査調書

通し番号	103	整理番号	9	-	002	作成	平成19年2月
名称	ナカタ 中田のささら				項目	祭礼	
管理	住所	石川町大字中田地区					
	連絡先						
	管理者及び所有者	中田ささら保存会					
概要	<p>1.祭典期日 9月15日(昭和36年から石都ノマ古和気神社例大祭と同一日となる。) 昭和52年頃までは、9月19日 昭和36年以前は、天王祭(八坂神社)が旧暦6月15日、権現祭(湯殿神社)が1日暦8月15日の2回開催</p> <p>2.祭典場所 八坂神社創建享保2年(1717年)明治以前牛頭天王 湯殿神社創建享保3年(1718年)明治以前湯殿山大権現</p> <p>3.文化財指定石川町指定無形文化財(昭和49年9月28日指定)</p> <p>4.芸能の種類 (1)奉納舞 1)三匹獅子舞 2)四方固め 3)前ざし神楽 4)あばれ神楽 5)鈴の段 (2)余興 1)鍾馗の舞 2)鳥差し 3)お多福おかめの舞 4)白鍬踊り 5)和唐内(現在は行われていない) 6)笠踊り</p>						
参考文献	石川町史 石川町の文化財						
関連項目							
備考	町指定無形民俗文化財						
写真及び位置図等							
							
ささらの様子				位置図			

石川町資源調査調書

通し番号	104	整理番号	9	-	003	作成	平成19年2月
名称	カッソ 近津神社例大祭 (八槻市)				項目	祭礼	
管理	住所	石川町字南町地内					
	連絡先						
	管理者及び所有者	近津神社					
概要	<p>南町にある近津神社は、古くから農業の神様が祀られ参拝する人が大勢いる。毎年11月23日の勤労感謝の日には五穀豊穡を祝う、近津神社の例大祭「八槻市」が行われる。人々には「やつきさま」と親しまれ石川町の冬を迎える風物詩となっている。当日は南町から荒町にかけての道路の両側にたくさんの露天商が並ぶ。病よけの食品として冬にかかせないユズやショウガの他、衣類や日用雑貨など、冬支度の品々を買い求める人で賑わう。</p>						
参考文献	福島県教育委員会ホームページ http://www.shidou.fks.ed.jp/jiten/bunka/cgi-bin						
関連項目	近津神社 (4-003)						
備考							
写真及び位置図等							
							
八槻市		位置図					